

第31回全国医師会共同利用施設総会

「地域に根ざした医師会共同利用施設のあり方～2040年問題が及ぼす影響と対策」

臨床検査センターを取り巻く 環境変化と今後の取り組み

2025年8月30日

一般社団法人 広島市医師会
会長 山本 匡

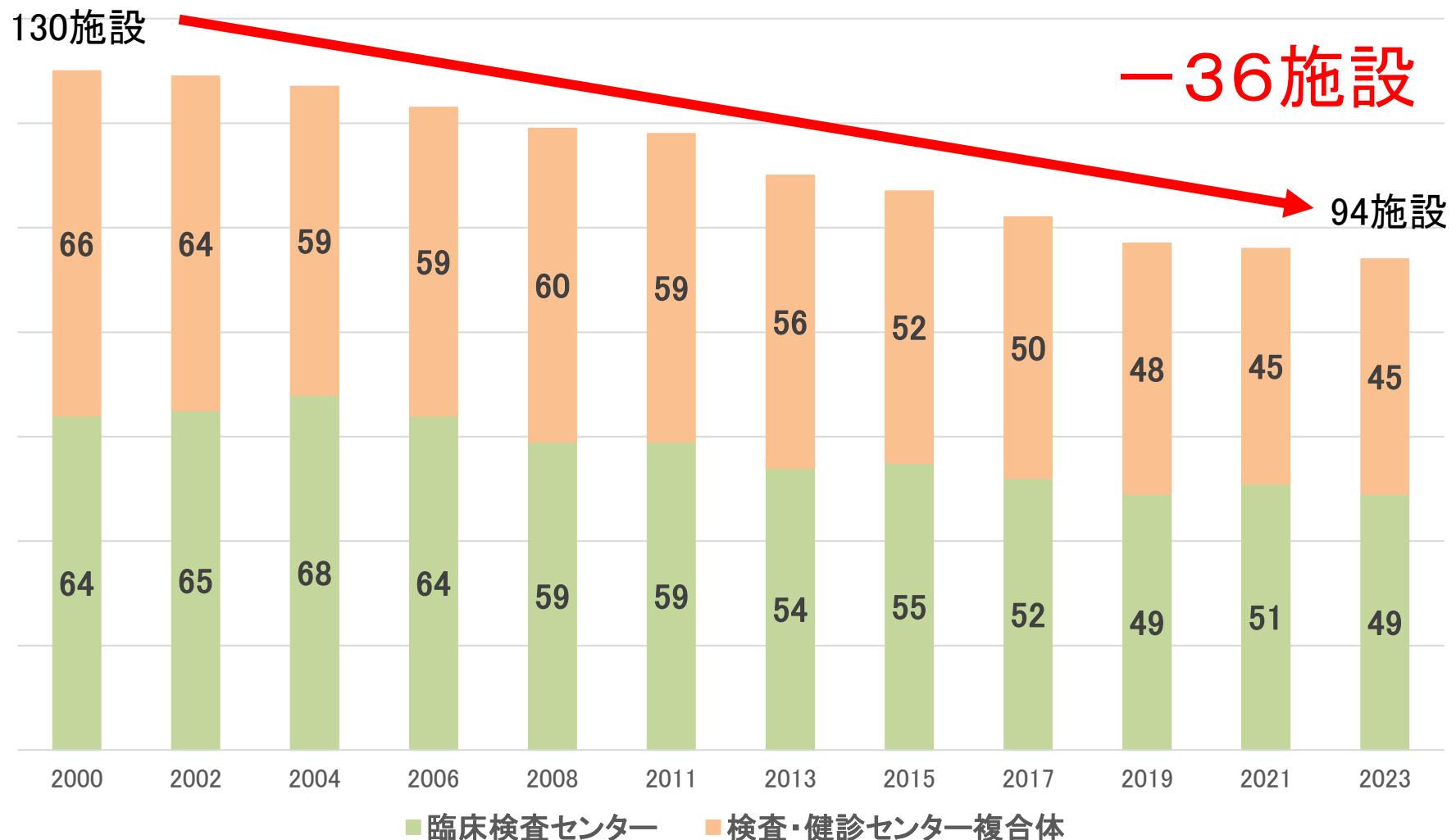
目 次

1. 臨床検査センターを取り巻く環境変化
2. 医師会間の相互協力
3. 民間検査センターとの戦略的連携

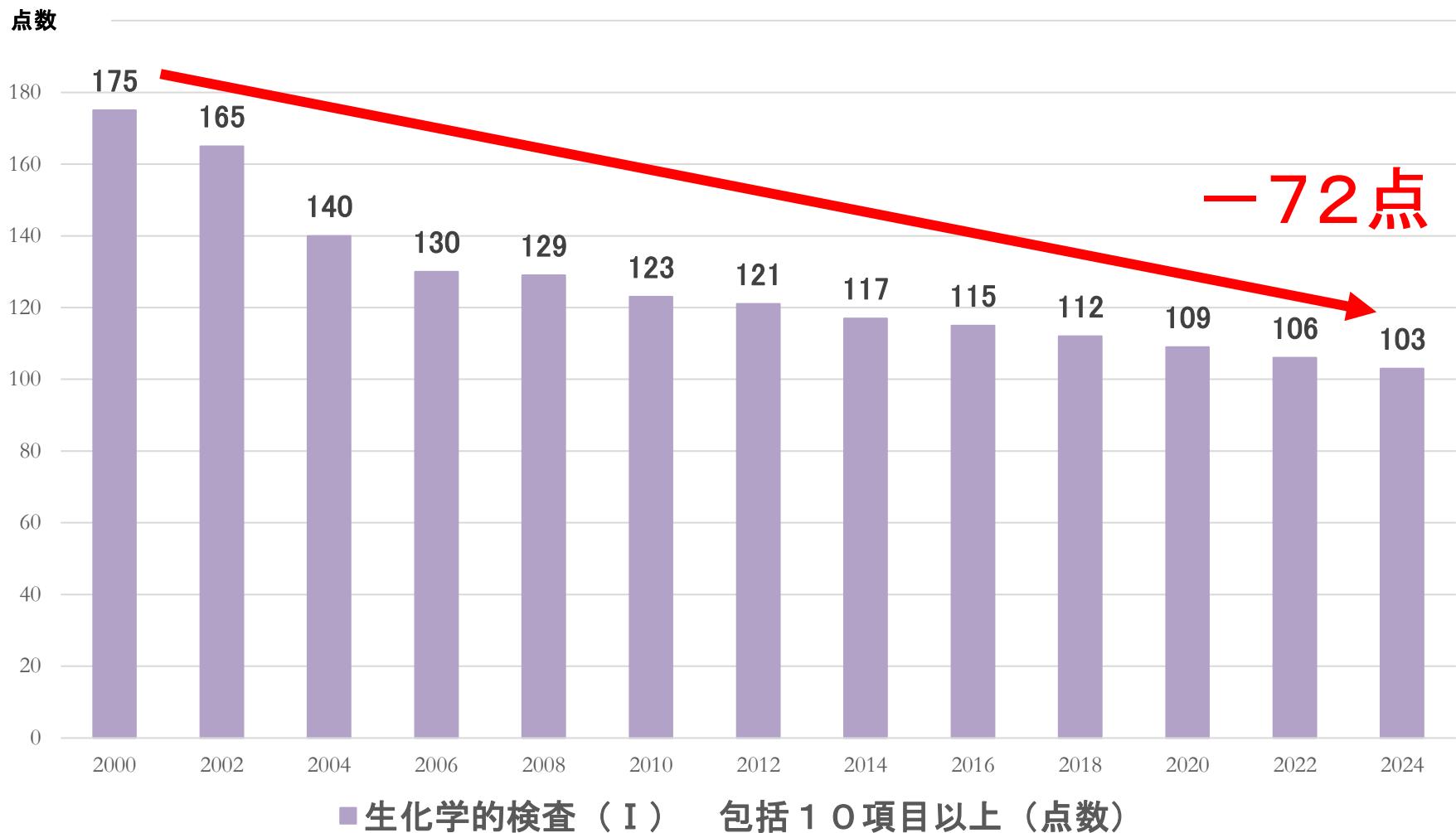
目 次

1. 臨床検査センターを取り巻く環境変化
2. 医師会間の相互協力
3. 民間検査センターとの戦略的連携

全国医師会 臨床検査センター／検査・健診センター複合体 施設数の推移(2000年～2023年)

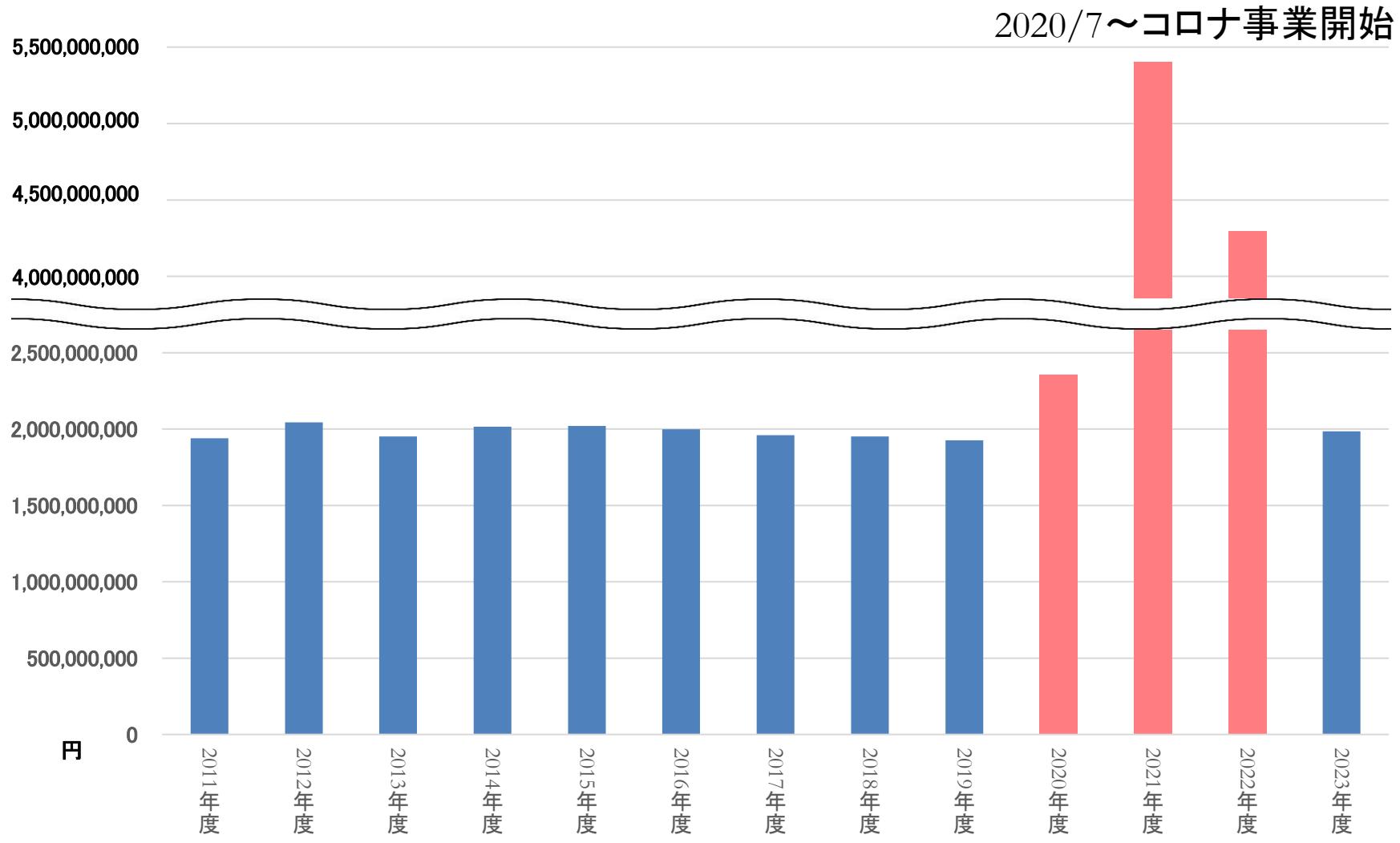


生化学的検査(I)包括10項目以上の点数推移



広島市医師会臨床検査センター

2011年～2023年度の経常収益



広島市医師会臨床検査センター

臨床検査収益(コロナ・拡大マススクリーニングを除く)



広島市医師会臨床検査センター

利用施設数の比較

	2011年	2023年	差
総医療機関数	1,716	1,919	+203
利用施設数	989	807	-182

広島市医師会臨床検査センター

売上の8割施設の医師の年齢構成

	2023年	2028年
30代	1%	0%
40代	9%	5%
50代	23%	15%
60代	31%	26%
70代	28%	34%
80代	8%	17%
90代～	1%	4%
	100%	100%

平均年齢 65歳

2028年には
60歳以上が
80%を占める

臨床検査センターを取り巻く環境変化

【臨床検査収益】

コロナ禍以降減少

【診療報酬】

検査実施料の下落

売上減少

高齢化による閉院の増加

【既存施設】

獲得率の減少

【新規・継承施設】

臨床検査センターを取り巻く環境変化

【人件費】

職員高齢化、時給引上げ

【光熱費】

電気・水道・ガスの高騰

経費増加

機器代の高騰、保守費増

【設備投資】

試薬・消耗品・容器の高騰

【材料費】

目 次

1. 臨床検査センターを取り巻く環境変化
2. 医師会の相互協力
3. 民間検査センターとの戦略的連携

環境変化への対応

	これまで	これから
事業規模	維持・拡大	縮小
各種料金	無料提供・値下げ	有料化・値上げ
医師会	単独経営	相互協力
民間検査センター	競合	戦略的連携

今後の取り組み

【検査システム】

システムの共同利用

【検査分野】

選択と集中

相互協力

効果的な配置

【検査機器】

BCP対策

【リスクマネジメント】

システム共同利用について

■ 質問 令和6年11月7日 理事会

システム共同利用によって、周辺医師会が得られるメリットは何か

■ 回答 令和6年11月7日 理事会

(1) システム費用の価格低減

広島市医師会のパッケージを利用することで、事業規模に応じた価格帯(大・中・小)で導入できる。当会と運用を共通化することにより、カスタマイズにかかる費用が不要となる。

(2) システムの長期利用

複数の医師会がシステムを共同利用することにより、開発委託先の事業運営が安定するため、撤退するリスクが低減される。

(3) 周辺医師会との相互協力

BCP対策が可能となることや検査機器の効果的配置、検査の選択と集中などにより、事業規模に応じた経営の効率化が図れる。

システム共同利用のメリット

ソフトウェア費用の内訳

導入費用	複数医師会でシステム更新を計画的に実施することで、導入費用の値引きが可能
分析機連携費用	同じ検査機器を使用すれば、基幹システムとの連携費用は1回の開発費用と作業費のみ
カスタマイズ費用	運用を共通化すれば、パッケージの標準機能として実装できるため、費用は不要
パッケージ費用	事業規模に応じたパッケージの価格帯

目 次

1. 臨床検査センターを取り巻く環境変化
2. 医師会の相互協力
3. 民間検査センターとの戦略的連携

環境変化への対応

厳しい環境変化の中、検査体制を維持していくためには、医師会の相互協力に加え、地元民間検査センターとの戦略的な連携が必要である。これにより、各地域の新たな臨床検査体制の構築が可能となる。

	これまで	これから
地元民間 検査センター	競 合	連 携
検査委託先	エスアールエル	地元民間検査センター エスアールエル

環境変化への対応

〔戦略的連携〕

中期的な経営課題	医師会	民間検査センター
1. 物流の効率化	—	○
2. 料金の適正化	—	○
3. 検査の選択と集中	○	○

物流の効率化

非効率的な地域



民間検査センターとの戦略的連携

①検査委託

不規則性抗体
ELFスコア
APS検査パネル
マイコプラズマ

②集荷統合 大竹コース

1施設を試験的に開始

4つの課題

容器の有料化
至急集荷の有料化
特定健診代行入力の値上げ

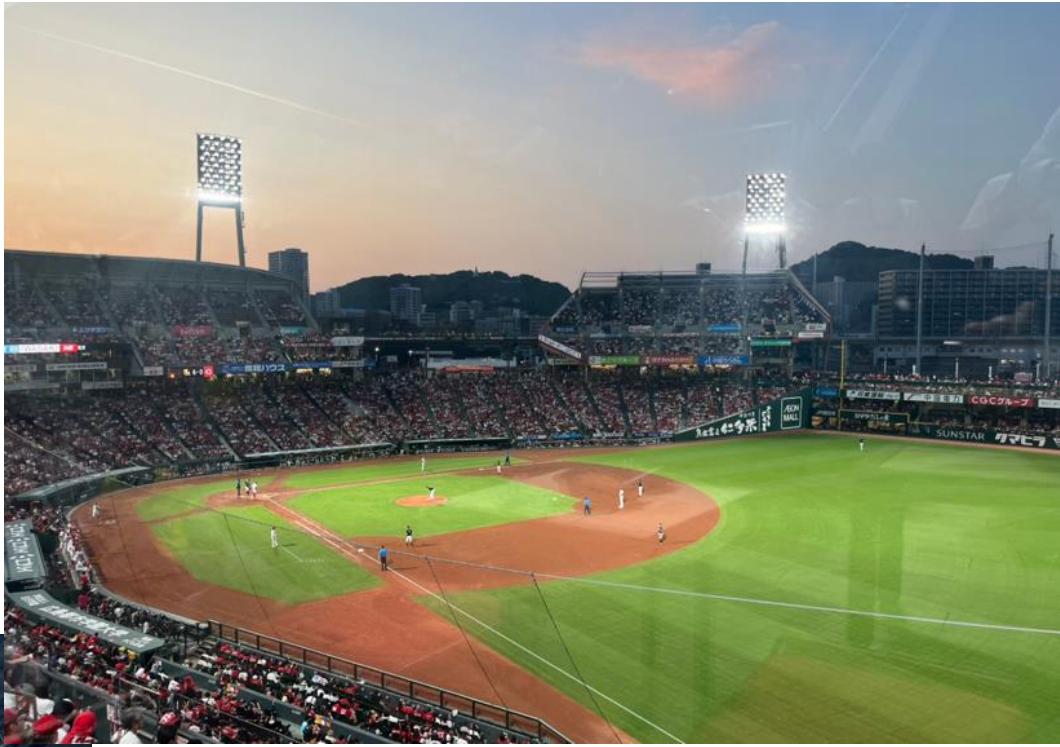
集荷統合地区の取引施設を
医師会に契約変更

③適正営業

④業務移管

本日のまとめ

1. 臨床検査センターの経営はますます厳しくなる。
2. 医師会間の相互協力を視野にいれて事業規模を検討する必要がある。
3. 民間検査センターとの戦略的連携も視野にいれた経営戦略を検討する必要がある。



ご清聴ありがとうございます。



ご清聴ありがとうございます。